

第22回 全日本少年少女空手道選手権大会 形競技個人戦 解説

① 予選 1回戦～4回戦（ベスト8が決まるまで）旗方式トーナメント／2名同時演武

<p>基本形一から四</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲキサイ第一 ・ゲキサイ第二 ・平安初段～五段 ・ピンアン初段～五段 	<ul style="list-style-type: none"> ・トーナメントのため、勝ち上がりの段階で帯の色が変わる場合があるので、赤、青両方の帯を持参すること ・コートのコナーから演武位置まで斜めに入場する ・演武開始の礼の後、赤、青の順に形名を呼称する ・係員の電子ホイッスルの合図の後、演武を開始する ・演武終了の礼の後、選手はコートエンドまで下がって判定を待つ ・判定の後、お互いに礼、正面に礼をして退場する ・<u>3回戦進出者は、形エントリーカードに3回戦の演武形名を番号で記入し、コート係員に提出する</u> ・<u>準決勝ラウンド進出者は、形エントリーカードに準決勝ラウンドの演武形名を番号で記入し、コート係員に提出する</u>
---	--

② 準決勝ラウンド 得点方式／2名同時演武

<ul style="list-style-type: none"> ・第一指定形 ・第二指定形 ・①予選で使用していない基本形 	<ul style="list-style-type: none"> ・8名の競技者は2つのグループ（Aグループ・Bグループに分けられる） ・第1コートから第4コートで勝ち残った4名をAグループとする ・第5コートから第8コートで勝ち残った4名をBグループとする ・各グループ4名の演武順はシステムにより自動的に抽選される ・演武順1番と3番は赤帯を、2番と4番は青帯を締めること ・入退場、演武開始終了に関することは予選と同様となる ・4名の演武が終了した時点で順位を発表する ・各グループの1位から3位までの選手が決勝ラウンドに進む ・1位は決勝戦、2位と3位は3位決定戦、各グループ4位は全体の7位が確定する ・<u>決勝ラウンド進出者は、形エントリーカードに決勝ラウンドの演武形名を番号で記入し、コート係員に提出する</u>
<p>同点の処理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電子システムによる同点の解決を行う

③ 決勝ラウンド 得点方式／3位決定戦は2名同時演武／決勝戦は1名ずつ演武

<ul style="list-style-type: none"> ・①②の本戦で使用していない第一指定形 ・第二指定形 ・基本形 	<ul style="list-style-type: none"> ・Aグループから決勝ラウンドに進む選手は赤帯を、Bグループは青帯を締める ・【3位決定戦】 ・第1コートから第4コートでは、Aグループの2位とBグループの3位が、第5コートから第8コートでは、Aグループの3位とBグループの2位が競技する ・入退場、演武開始終了に関することは予選、準決勝ラウンドと同様となる ・演武終了後、副審1は選手の間立って勝者を宣告する ・宣告後、副審1の号令により、お互いに礼、正面に礼をして退場する ・【決勝戦】 ・第1コートから第4コート及び第5コート、第6コートで行う ・赤、青の順に演武する ・両名の演武が終了したら、副審1は選手の間立って勝者を宣告する ・宣告後、副審1の号令により、お互いに礼、正面に礼をして退場する
<p>同点の処理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電子システムによる同点の解決を行う